

令和5年

Y8サミット創快横手市議会

政策提案

令和5年Y8サミット創快横手市議会 政策提案目次

- (1) Y8提案第1号 若者向け情報サイトの開設について
(平鹿中学校からの提案) 1ページ

- (2) Y8提案第2号 横手愛雪消しデー(D a y)について
(横手北中学校からの提案) 2ページ

- (3) Y8提案第3号 就職と定住のサイクルが回る横手市について
(増田中学校からの提案) 3ページ

- (4) Y8提案第4号 横手市周回型催事Y o k o - F e sについて
(横手南中学校からの提案) 4ページ

- (5) Y8提案第5号 横手市の魅力を伝える
公式Y o u T u b eチャンネルの活用について
(横手清陵学院中学校からの提案) 5ページ

- (6) Y8提案第6号 横手市J Y E N K Oアプリの導入について
(横手明峰中学校からの提案) 6ページ

- (7) Y8提案第7号 横手駅東口新公益施設(A o - n a)を拠点とした
「ブックフェス」の開催について
(十文字中学校からの提案) 7ページ

Y 8 提案第 1 号

若者向け情報サイトの開設について

平鹿中学校から次のとおり政策提案する。

令和 5 年 1 1 月 1 3 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



平鹿中学校

〔提案説明者〕

12 番 たかの のりふみ 高野典史 議員、13 番 しばた と あ 柴田翔歩 議員、14 番 きたわらあおい 貴俵葵衣 議員

〔提案要旨〕

若者がふるさとで暮らし、ふるさとにとどまって、ふるさとを守りたいという思いを強くもって成長するには、青年期の生活をより充実したものにするのが不可欠である。世代によって情報を得る手段が異なるのに、同じツールで情報発信されている現状を改善する必要があるのではないか。そこで、ターゲットを若者に絞った若者向け情報サイト「よっちょ」の開設を提案する。

1. ボランティアを募集するページ

市民誰もが応募や投稿をすることができる。また、ボランティアを必要とする人が直接募集できるようになり、必要な時に早く人手を確保することにもつながる。

2. イベント情報のページ

市外に住む友達を誘うことで参加者が増えるほか、自分の居場所があるという思いを高めることにつながる。また、お祭りについては予告だけでなく、誰もが気軽に参加できるように募集コーナーも設ける。

3. 若者向け掲示板

リアルタイムで投稿が反映されるため、チャットのような使い方もでき、みんなとつながっているという安心感を高める。

4. 市報のデジタル閲覧

紙の市報は若者が手にとって読むことは少ない。ページにアクセスすると写真が目飛び込んできて思わず開きたくなるようにしてはどうか。

5. イベントの様子やおいしいお店の情報を掲載する若者向けブログのページ

6. 親子で見ることができるちびっ子用のページ

7. 孫と見ることができる高齢者用のページ

Y 8 提案第 2 号

横手愛雪消しで一（D a y）について

横手北中学校から次のとおり政策提案する。

令和 5 年 1 1 月 1 3 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



横手北中学校

〔提案説明者〕

15 番 ほりえりおん 堀江莉緒 議員、16 番 ほそやここむ 細谷心夢 議員、17 番 なかにしめい 中西愛唯 議員

〔提案要旨〕

横手市では毎年、雪に困っている人がとても多い。高齢化率は約 40%であり、高齢者にとって除雪は本当に大変である。また、歩道が雪に埋もれて歩くのが困難になったり、雪壁で視界が狭くなったりするなど、とても危険な場面に遭遇したこともあった。そこで、少しでも改善につながるように、雪に関わる取組として「横手愛雪消しで一（D a y）」を提案する。

1. 取組内容

- ①歩道や地域の公園など、地域の方々が必要としている場所の除雪
- ②各町内回覧板等を利用しての危険箇所の確認や要望の把握
- ③幅広い年齢層の横手市民に参加してもらうための呼びかけ

2. 実施方法

設定日が 1 日だけだと悪天候や積雪量によって実施できないこともあるため、「毎月第 3 日曜日」や「雪消し重点 W e e k」という形で設定したらどうか。また、令和 5 年度版わかりやすい予算書によると、雪に関わる事業費は約 15 億円、その内、除排雪費は約 10 億円で、さらに大雪になれば経費を追加しなければならない。雪から市民を守るための費用負担をこれ以上大きくしないためにも、地域の力を使った共助の取組としてスモールステップでスタートしてはどうか。私たちの地域では、毎年決まった時期に地域の方々が集まって除雪し、通学の安全を守る活動をしている。市全体を見ても、このような活動をしている地域は少ないと思うが、この取組を P R することで、子どもだけでなく高齢者の生活を支えることにつながるのではないか。こういった共助の取組の良さを徐々に広げていくことで、将来的には全市民で取り組む冬のイベントとして成長させることができると考える。

Y 8 提案第 3 号

就職と定住のサイクルが回る横手市について

増田中学校から次のとおり政策提案する。

令和 5 年 1 1 月 1 3 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



増田中学校

〔提案説明者〕

2 番 おの でのりゅうせい 小野寺 琉 晟 議員、8 番 く めり か 久米里 佳 議員、9 番 かわむらて っぺい 川村 鉄平 議員

〔提案要旨〕

横手市では若者の市外流出が顕著であり、それに伴って出生数も減っており、高齢者が目立つ人口構造になっている。育児の現状を見ると、横手市には病気の子どもを預けられる施設は 1 カ所しかない。小さい子を持つ親は病気の子どもを看護するために仕事を休まなくてはならず、その後の職場の対応に不安を抱く人も多い。一方で、若年層に注目すると、横手市では関東圏などから大手企業の誘致を進めており、若者を含む沢山の人が地元で働く環境を整備しているほか、看護学校もあり、学びの場も充実している。しかし、毎年若年層は減少傾向にあり、さらに大学進学を機に、首都圏等の県外に出ることが多いのも事実である。大手企業と学びの場の結びつきや、首都圏から地元に戻りたいという期待や魅力がまだまだ希薄なのではないか。

そこで、次の 2 点を提案する。

1. シニアの経験値が若年層に引き継がれていくシステムの構築

Y²ぷらざや、新設される A o - n a などのスペースを生かして、シニア世代が若年層に料理を教えたり、育児について相談を受けたりする教室を開くことで、ママ友・パパ友の横のつながりとシニアとの縦のつながりを生むことができる。こうした取組を市報や乳児健診などを通じて、大々的に宣伝したらどうか。

2. 病気の子どもの看護等のサポートを行う仕組みの整備

病気の子どもを無償で看護してもらえる場が増えることで、働きに行かなければならない保護者は子育てを頼ることができるようになる。これにより、近隣の看護学生の雇用の場の創出や横手市への定住にもつながる。こうして就職と定住のサイクルが回ることで「育児と福祉の町よこて」というアイデンティティが生まれるとともに、横手市に若者が増え活気が生まれると考える。

Y 8 提案第 4 号

横手市周回型催事 Y o k o - F e s について

横手南中学校から次のとおり政策提案する。

令和 5 年 1 1 月 1 3 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



横手南中学校

〔提案説明者〕

18 番 うちだこうた 内田昂汰 議員、19 番 さとうゆうき 佐藤悠樹 議員、20 番 たむらわかな 田村和奏 議員

〔提案要旨〕

横手には、夏は線香花火大会や送り盆まつり、冬はぼんでんやかまくらなど、お祭りがいくつもある。お祭りには人を繋ぎ、地域を活性化させる力がある。そこで、横手のお祭りをもう 1 つ増やす「横手市周回型催事 Y o k o - F e s」を提案する。

1. 毎年開催地を変え、持ち回りで行う「周回型」にする

①地域の特色を発信する場になる

地域の特産を生かした飲食物の販売や、伝統工芸品の販売・体験コーナーの設置等、その地域ならではのブースに焦点を当てる。横手の地域ごとに特色があることを知識としては知っていても、自ら触れに行く人は少ない。しかし、お祭りには人を動かす力があり、地域で大々的に行う催しとして特色を発信すれば市内外の人たちに魅力を伝え呼び込むことができる。

②目新しさが生まれる

毎年違う場所、違う内容の催しを行うことは、見る人・来る人に目新しさを感じさせることができる。行って見ないと何があるかわからない、しかもその催しは今年一度限りとなれば、足を運んでみたくはなるのではないか。

2. 子どもから大人まで幅広い世代が企画・運営に携わる

子どもにとっては、先輩・後輩の繋がりを密にし、働くことの意義を知ることができ、大人にとっては、子どもたちに地域の特色を知ってもらい、子どもならではの新しい着眼点を得られるというメリットがある。人口流出により担い手不足が心配される産業が多々あるが、こうした問題を解決するには、まずは世代を超えた交流を生むことが不可欠であり、このお祭りをそのような場にしたい。

Y 8 提案第 5 号

横手市の魅力を伝える公式 Y o u T u b e チャンネルの活用について

横手清陵学院中学校から次のとおり政策提案する。

令和 5 年 1 1 月 1 3 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



横手清陵学院中学校

〔提案説明者〕

5 番 ^{たかみねね} 高見寧々 議員、6 番 ^{ちばちかこ} 千葉慈子 議員、7 番 ^{かしわやまあさ} 柏谷眞麻 議員

〔提案要旨〕

横手市の魅力を十分に発信できれば様々な地域から観光客を呼び込むことにつながる。しかし、市の公式 Y o u T u b e には市政に関する動画や市出身者が営業する首都圏のお店を紹介する動画、イベント告知の動画があるが、市の魅力を十分発信できている動画は少ない。そこで、横手市の公式 Y o u T u b e チャンネルを活用し、全国に横手市の魅力をさらに伝える動画を作成し、定期的に投稿することを提案する。

1. 旬の農産物をテーマに、農家へのインタビューや消費者の感想を紹介する
横手に行って食べてみたいと思ってもらえるほか、アレンジレシピを紹介することでお土産として購入してもらおうことにもつながり、経済にも良い影響が出る。
2. 横手やきそばなどの名物料理の作り方を紹介する
横手に行ったときに食べたあの味を再現したい、横手にもう一度行って食べたいと思ってもらえることができ、横手への関心をさらに高めることができる。
3. 市の新たな取組や新しくオープンしたお店を紹介する
期間や配信時期を設定して、市の新たな取組や、特徴ある取組をしている人へのインタビュー動画、新しくオープンしたお店や依頼のあったお店を紹介する動画を作成する。
4. ナレーションやテロップを活用して紹介する
現在配信されているお祭りや風景、食に関する動画には、ナレーションやテロップを用いた説明がない。インタビュー内容をテロップにすることで見やすくなり、より詳しく魅力を伝えることができるようになる。

Y 8 提案第 6 号

横手市 J Y E N K O アプリの導入について

横手明峰中学校から次のとおり政策提案する。

令和 5 年 1 1 月 1 3 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



横手明峰中学校

〔提案説明者〕

3 番 かまだかんじ 鎌田貫志 議員、10 番 なかやまり お 中山里桜 議員、11 番 さ さ き きょういち 佐々木喬一 議員

〔提案要旨〕

人口減少を解決するためには地域経済とコミュニティの活性化が不可欠であり、定住者や観光客の増加を目指すことが必要である。そこで、「横手市 J Y E N K O アプリの導入」を提案する。

1. アプリの機能

①地域経済活性化のための電子マネー機能

商業施設や飲食店などで使えるようにし、高還元率のポイントを付ける。例えば、市民は 2 %、観光客は旅行期間中に 5 %、お盆や年末年始、送り盆、かまくら開催期間は 8 % の還元など。また、貯まったポイントは 1 ポイント 1 円で使えるようにしたり、市の特産品や温泉等の割引券と交換できるようにすることで、横手市で買い物する人を増やすことができ、循環型の経済活性化につながる。

②コミュニティ活性化のための情報発信機能

市の緊急メール、お得情報、イベント情報などを受け取れるようにすることで、L I N E やインスタグラムなどと同様に「毎日気軽に見るアプリ」になる。

2. 課題と解決策

①キャッシュレスシステムの構築費用や参加事業者の費用負担といった課題

商工会や J A、民間企業、大学などの協力を得ながら導入を図っていくことで、市と商工会、民間企業などが知恵を出し合って将来の横手について考える機会にもなる。

②高齢者にも使ってもらえるかという課題

中学生が高齢者にアプリの使い方を教えるスマホ教室を開催し、買い物の仕方や市の情報の見方などを教えることで、高齢者と中学生の交流にもつながる。

Y8提案第7号

横手駅東口新公益施設（A o - n a）を拠点とした「ブックフェス」の開催について

十文字中学校から次のとおり政策提案する。

令和5年11月13日 提出

横手市中学校Y8サミット



十文字中学校

〔提案説明者〕

21番 ^{おがたなごみ} 緒方 和 議員、22番 ^{やまだじん} 山田 陣 議員、23番 ^{てらうちゆうと} 寺内 優翔 議員

〔提案要旨〕

横手駅東口に来年度オープン予定の新横手図書館を、多くの市民が心待ちにしている。本は、いつの時代においても必要不可欠なものであり、知識を得るだけでなく、本を通して様々な思い出がつくられ、人々の心を豊かにさせる。また、世代や地域を超えて共通の話題を生み出すことができるのも魅力である。本を通して、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流の輪を広げられるイベントがあれば、市外からも多くの人々が集まるのではないかと考える。そこで、横手駅東口新公益施設（A o - n a）を拠点とした、大規模な本の祭典「ブックフェス」の開催を提案する。

1. 100人規模の研修会が可能なスタジオを活用したイベント開催
 - ①小中高生を対象にしたビブリオバトルやアナウンス（朗読）コンテスト
 - ②ゲストが本にまつわる思い出を語るトークイベント
 - ③屋外や他のスペースでも視聴できるようにイベントのオンライン配信
2. オープンスペースやティーンズエリア、屋内アクティブエリアでのイベント開催
 - ①古本購入チケットを用いたフリーマーケット
 - ②おさがり学用品の提供、十文字和紙を用いたブックカバー製作講座、本の読み聞かせスキルアップ講座など、本を読みたい人だけではなく、多くの人のニーズに応えられるイベントの実施
3. ブックフェスに合わせた、Y²ぷらざ周辺エリアでの横手の物産品の試飲や試食、販売